

自立した人間として
他者と共に
よりよく生きる



基盤となる

道徳教育・道徳科で
育てることを目指す

資質・能力

道徳性

道徳的な判断力、
心情、
実践意欲と態度

学習を通して

道徳性を養うために行う
道徳科における学習



自己を見つめる

(自分のこととして、
自分との関わりで考える)

(広い視野から)
多面的・多角的
に考える

道徳的諸価値の理解
を基に

自己の
(人間としての)
生き方についての
考えを深める

考え、議論する
道徳科の授業づくり

～道徳授業づくりシートの活用～



令和2年3月

島根県教育センター

道徳授業 づくりシート の使い方



道徳科の授業づくりで大切にしたいこと

道徳科の授業において、子どもたちに
どのようなことを考えてほしいのか、
どのようなことに気付いてほしいのか
を明らかにすること

おおよそ → の順番に
 メモをしていくことで、
 本時のねらいが明確になり
 ます。さらに、ねらい
 に基づいた中心発問を設
 定することができ、「考
 え、議論する道徳」の授
 業が構想できるようにな
 るシートです。

指導の明確な意図①

道徳的価値

- ねらいや指導内容について、学習指導要領に基づき、教師の捉え方を明確にしましょう。

指導の明確な意図②

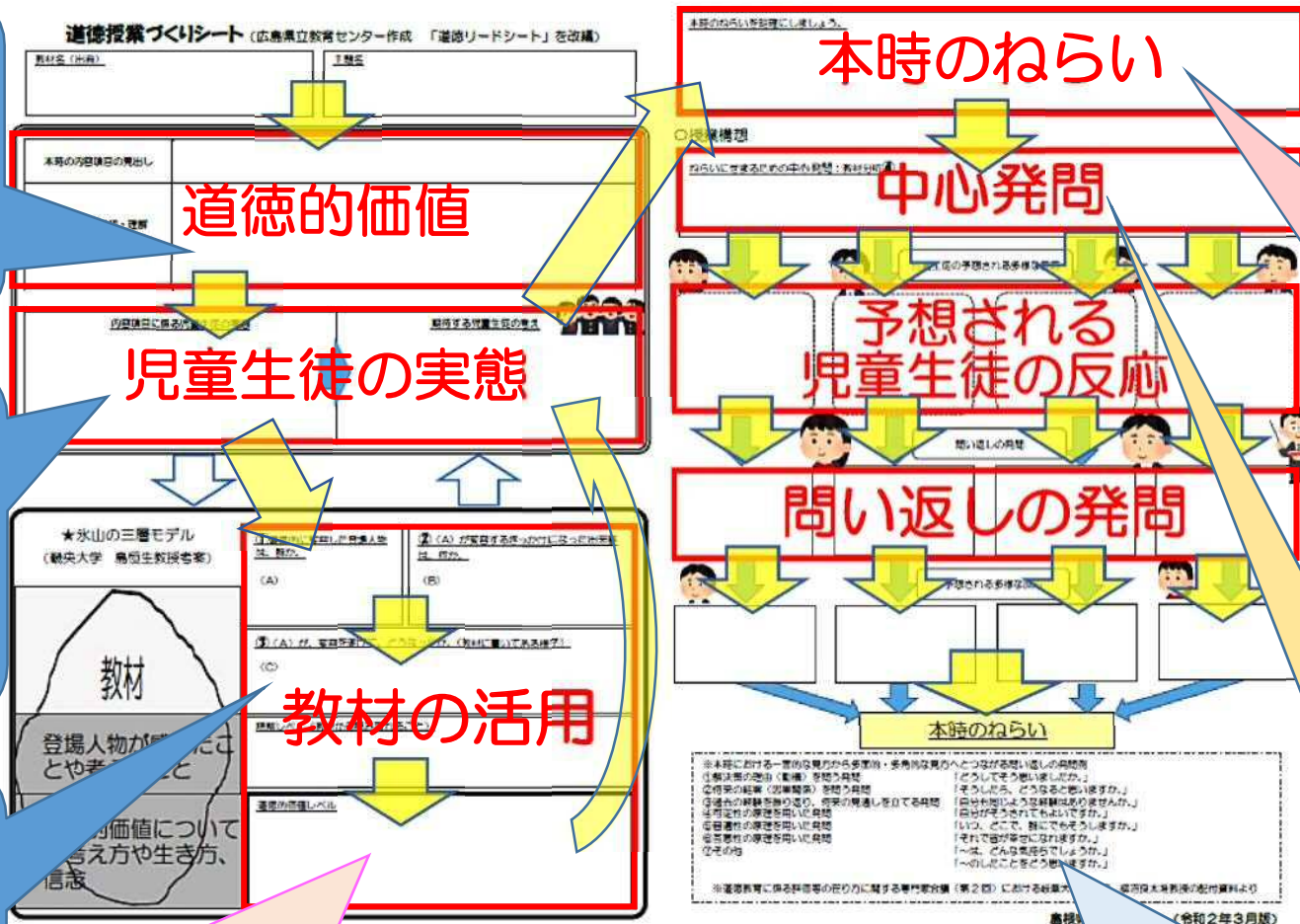
児童生徒の実態

- ねらいや指導内容に関連する児童や生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願いを明確にしましょう。

指導の明確な意図③

教材の活用

- 道徳的価値の自覚を深めていくために、使用する教材の特質やそれを生かす手掛かりを明確にしましょう。



本時のねらい

- 「指導の明確な意図」をもつことによって見えてきた「道徳的価値レベル」と「児童生徒の実態」をもとに、「本時のねらい」を設定しましょう。

中心発問

- 児童生徒が「考え、議論する」ための中心的な場面となります。
- 中心発問に対する「予想される児童生徒の反応」、さらに考えを深めるための「問い返しの発問」を準備することにより、発問する教材の場面や発問の文言を検討しましょう。

「道徳的価値レベル」の教材分析

- 「道徳的価値についての考え方や生き方、信念」＝「道徳的価値レベル」を検討し、教材分析を深めていきましょう。

問い返しの発問

- 児童生徒の一面的な見方から多面的・多角的な見方につなげる問い返しの発問例を載せています。